

一次審査通過者には、以下のように二次審査会(公開)を行いますので、準備・対応ください。

1. 開催日時

6月10日(水) 15:30-17:30 会場は別途連絡 オンラインにて(学部内公開)

2. 参加対象

- ・二次審査を通過したプロジェクトメンバー、審査委員の先生方。
- ・プロジェクト以外の教育学部生・長野キャンパス院生および学部教職員(質疑はプロジェクトメンバーおよび審査委員のみ)
- ・当日はプロジェクトメンバーが1名以上参加すること。
- ・発表は代表もしくはプロジェクトメンバー(教育学部生・長野キャンパス院生に限る)。なお、発表は複数でも可とする。

3. 二次審査内容

(1)事前準備

- ・6月3日(水)までにプロジェクトごとに、審査員の先生方から申請書に対し、事前に質問や意見があれば送付する。受けた質疑等の回答は、当日説明の中に含めること。
- ・6月8日(月)までに顧問の先生からプロジェクトの補足や推薦のメッセージをいただく。 ※5を参照
- ・申請書に基づきプロジェクトの説明をA4横で1枚程度(最大3枚以内)にまとめ、所定の提出先に提出をする。
- ・質疑対応で補足が必要な場合は、資料にプラス1枚まで追加可能。また、質疑の流れで必要資料を提示することは差し支えない。
- ・採択されたプロジェクトのプレゼン資料は公開するので、著作権、肖像権、個人情報などの対応を確認し、公開を前提に作成すること。

(2)当日

- ・各プロジェクト、発表7分以内、審査員による質疑7分程度とする。
- ・審査会の様子は録画される。録画は、審査会に参加できなかった審査員の先生方に共有され、それを元に審査を実施する。
- ・当日都合により誰も参加できない場合は、プレゼンテーション及び質疑対応動画を前日までに投稿し、発表に替えるものとする。
- ・当日発表者がいない、もしくは代替動画がアップされなかった場合は、棄権とする。
- ・当日ネットワークトラブルにより審査が実施できなかった場合は、別途対応を連絡する。

(3)プレゼン資料投稿先

- ・6月8日(月)までに以下のフォームからプレゼンファイルをPDF形式にして提出をすること(信大アカウントのみ受付)。

<https://forms.gle/pxy5MiSMMEJsWALu5>

※動画で代替する場合もこちらで資料と動画を一緒に投稿すること。

4. 審査の観点(応募要項に記載済み)

審査基準 Ongoing project 部門 1～9, Challenge project 部門 1～7で評価をする

1	学生・院生の自主的、積極的なプロジェクトであるか。
2	教育的な成果が期待できるプロジェクトであるか。
3	魅力的、独創的なプロジェクトであるか。
4	目的、概要、実施計画、実施方法が明確であり、実現可能性があるか。
5	地域との連携が期待できるプロジェクトであるか。
6	必要経費の算定は妥当であるか。
7	安全対策や個人情報対応など、社会的、教育的にマイナス面を生じない配慮があるか。
8	過去の活動実績は十分であり、検証・改善がなされているか。
9	前回取り組みからの追加・発展がなされているか

5. 顧問の先生方のコメント

・各顧問の先生には以下の連絡をし、6月8日(月)までに指定フォームに投稿をいただくことを依頼してください。

プロジェクト顧問の先生方

学生企画審査委員会

この度は、顧問をお引き受けいただいている学生支援企画の一次審査通過おめでとうございます。

二次審査は代表学生に連絡したように、学生によるプレゼンテーションを実施します。

その折りに限られた発表や質疑時間でもあるので、

審査側で申請いただいたプロジェクトの理解を深め、

より適切な審査を行うために、

参考として顧問の先生方からプロジェクト推薦のコメントをいただけないでしょうか。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

6月8日(月)までに 最大 400 文字程度でお願いします

<https://forms.gle/fkBrPdixwGX1Afff8>

6. 審査結果

・6月15日(月)を目処に、審査結果を申請代表者宛にメールにて通知予定(事情により変更される場合もある)。

以上